



[写真:個人提供]

入場無料

新幹線を走らせた信念の快男児

十河信二

そごう

しんじ

開催期間

令和5年12月9日(土)～令和6年3月10日(日)

休館日

月曜日(祝日及び振替休日に当たる場合はその翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)

会場

愛媛県生涯学習センター内
愛媛人物博物館 3階 企画展示室

開館時間

9時～17時30分(博物館への入館は17時まで)
※12月9日はオープニングセレモニーのため10時30分開館予定

プレ展示

令和5年12月2日(土)～3日(日) | えひめ生涯学習“夢”まつり内
愛媛県県民文化会館

主催 / 愛媛県生涯学習センター

後援 / 愛媛県教育委員会、西条市、西条市教育委員会、新居浜市、新居浜市教育委員会、愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛





(西条市教育委員会提供)

そごう しんじ
十河 信二

昭和 39(1964)年 10 月 1 日、東京オリンピックの開会式を 9 日後に控えたこの日、“夢の超特急”と称された東海道新幹線が開業しました。昭和 30 年代、日本は高度成長期を迎え、航空機や高速道路による交通網の整備が進み、鉄道は時代遅れの斜陽産業とみなされつつありました。しかし、東海道新幹線の成功は、諸外国が長距離高速鉄道を日本に倣って整備する引き金となり、世界の鉄道史に新たな 1 ページを刻む歴史的な偉業となりました。そして、この東海道新幹線事業を構想し、成功に導いたのが第 4 代国鉄総裁・十河信二でした。

十河信二は、明治 17(1884)年、新居郡中村(現、新居浜市)の農家に生まれました。東京帝国大学(現、東京大学)を卒業後、鉄道院に入庁して当時総裁であった後藤新平の薫陶を受け、退官後は、中国大陸に渡って南満州鉄道理事、興中公司社長を歴任し、日本と中国の親善によって日米開戦を回避しようと奔走しました。また、終戦の直前には郷党より懇請されて西条市長を務め、そして、昭和 30(1955)年、同郷の友人らに強く要請されて第 4 代国鉄総裁に就任し、東海道線の輸送力強化策として新幹線構想を打ち出し、様々な困難を解決しながら開通に導きました。

本展では、十河信二の生誕 140 周年、そして東海道新幹線開業 60 周年を迎えることを機会として、ゆるぎない信念により、我が国の発展にその生涯を捧げた十河信二の偉業を紹介するとともに、その人物像に迫ります。

1 十河信二の礎

ゆるぎない信念により東海道新幹線を開通に導き、我が国の発展に力を尽くした十河信二の原点を探るとともに、幼少期を現在の新居浜市中萩で過ごし、愛媛県西条中学校(現、愛媛県立西条高等学校)を経て第一高等学校(現、東京大学)、東京帝国大学(現、東京大学)で学んだ十河信二の足跡を、関係資料を用いて紹介します。



(個人所蔵・西条市教育委員会提供)

3 中国大陸を舞台に

鉄道省退官後に請われて南満州鉄道株式会社社理事となり、その後、満鉄経済調査会初代委員長、興中公司社長を歴任し、この間一貫して日中戦争の拡大、軍の暴走の阻止に尽力するも時代の奔流に飲まれ、長い中国大陸での生活に終止符を打って帰国し、学生義勇軍会長、西条市長、終戦後は鉄道弘済会会長などを務めた十河信二の足跡を、関係資料を用いて紹介します。



(十河光平監修 『十河信二伝』より転載)

2 官僚として

大学卒業後、総裁の後藤新平の勧めで鉄道院(後、鉄道省)に入り、後藤や鉄道大臣・仙石貞の薫陶のもと頭角を現しながらも、関東大震災後の帝都復興事業の疑獄事件に巻き込まれて退官を余儀なくされた十河信二の足跡を、関係資料を用いて紹介します。



(個人所蔵・西条市教育委員会提供)

4 第4代日本国有鉄道総裁・十河信二

同郷の友人らに要請されて第 4 代国鉄総裁に就任し、東海道線の輸送力強化策として新幹線構想を打ち出し、様々な困難を解決しながら開通に導いた十河信二の足跡を、関係資料を用いて紹介します。



(個人所蔵・西条市教育委員会提供)

5 十河信二と妻・キク

十河信二自身の手記や証言、長女・由子の回顧文などをとおして、十河夫妻の深い絆を紹介します。



(西条市教育委員会提供)

関連講座 受講無料・要事前申込
(先着順、定員100名)

【演題】 新幹線の父・十河信二

講師 / 加藤 圭哉 氏 (十河信二記念館館長)
日時 / 令和 6 年 2 月 18 日(日) / 13 時 30 分 ~ 15 時
場所 / 愛媛県生涯学習センター 4 階 大研修室
申込 / 受講希望者全員の住所・氏名・電話番号を明記して Eメール・はがき、または HP 申込フォーム・電話・窓口でお申し込みください。

十河信二ゆかりの地見学バスツアー

見学場所 / 十河信二生家跡・十河信二記念館・五百亀記念館など
日時 / 令和 6 年 1 月 20 日(土) / 8 時 30 分 ~ 16 時 30 分(予定)
募集人数 / 30 名(先着順)
参加費 / 4,000 円(昼食代・保険料・博物館入館料を含む)
申込 / 電話・窓口または HP 申込フォームからお申し込みください。
[バスツアー詳細につきましては、生涯学習センター HP でご確認ください。]

展示解説会

(参加無料・申込不要)

日時 令和 5 年 12 月 24 日(日) **各日とも 13 時 30 分 ~ 及び 15 時 30 分 ~ の 2 回**
令和 6 年 1 月 28 日(日)、2 月 25 日(日)、3 月 10 日(日)
会場 愛媛人物博物館 3 階 企画展示室

お問い合わせ
お申し込み

愛媛県生涯学習センター

指定管理者 / (株) レスパスコ ポレーション
〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲 650 番地
TEL 089-963-2111 / FAX 089-963-4526 URL <https://www.i-manabi.jp/>
Email top@i-manabi.jp